

公開請求の内容及び処理状況

請求日	決定日	公文書の件名	決定内容	非公開事由 (7条該当号)	担当局	担当
令和4年 3月2日	令和4年 3月14日	令和元年度からコロナ対策で1兆円以上国から大阪市へ配られているが、空気清浄機、サーモグラフィ、加湿器を区役所、小学校、中学校等に設置出来なかった理由がわかるもの	不存在	号	浪速区	総務課(総務)
令和4年 3月3日	令和4年 3月17日	浪速区役所の令和3年12月17日付弁明書(大浪総企第29号)に次の記載があります。 「区運営方針の成果指標としている『区民の割合』とは区民アンケートの測定値そのものであり、当庁は区民アンケートの測定値が令和元年度と令和2年度を比較し前年度より増加していた事実により『区民の割合』が前年度より増加していると判断している」 まず、区民アンケートの結果は確率変数です。具体的には令和2年度運営方針の「アウトカム指標の達成状況」に記載されている「災害時の避難場所を把握している区民の割合(区民アンケート(区実施分))73.3%」の73.3%は無作為抽出された2,000人を対象とした調査の結果であり、別の2,000人が選ばれていれば違う値になっていたはずのものです。つまり区民アンケートの結果は確率的に分布する値であり、このようなものを「確率変数」と言います。 1. 確率変数である区民アンケートの結果が成果指標になりうるという根拠が示された文書を公開してください。 次に、確率変数である以上、その大小関係の判定は確率的に評価しなければならず、その前提としてどのような確率分布に従うものなのであるかが判明していなければなりません。これは3月1日に浪速区に送付した資料「母比率の検定」のとおりです。 2. 上記のように確率的な評価を行わなければならない区民アンケート結果の大小判定について、単なる「前年度より増加していた事実」で「『区民の割合』が前年度より増加していると判断」できる根拠が示された文書を公開してください。 ※確率変数、確率分布 https://bellcurve.jp/statistics/course/6596.html	不存在	号	浪速区	総務課(企画調整)
				号		
				号		
				号		